

れんけい だより

Vol. 70

国家公務員 横須賀共済病院 広報誌
共済組合連合会

地域医療支援病院

救命救急センター

周産期母子医療センター

臨床研修指定病院

地域がん診療連携拠点病院

神奈川 DMAT 指定病院

神奈川県災害医療拠点病院

DPC 特定病院群

病院機能評価(3rdGVer.1.1)



医療従事者研修会開催 ～ WEB 研修会～

CONTENTS

診療科部長に聞く P 2

Action 報告だより

CKD の現状と病診連携の重要性 P 4

三浦半島 PAD カンファレンス P 5

WEB 研修会

医療従事者研修会 開催報告 P 6

「無痛分娩」のご対応 P 7

部署探訪 P 8

健康管理センターよりお知らせ P 10

新規開業 医療機関訪問 P 11

「信頼される
泌尿器科をめざして」診療部長兼
泌尿器科部長 小林 一樹

泌尿器科のウリについてお聞かせください。

泌尿器科は常勤スタッフ8名で治療を行っています。腎癌・腎盂尿管癌・膀胱癌・前立腺癌・精巣癌等の殆どの泌尿器科悪性腫瘍に対して集学的な治療を行っています。手術はロボット（ダヴィンチ）や腹腔鏡を用いて低侵襲手術を中心にしています。ダヴィンチを用いた手術は2017年より開始していますが、既に400件を超す件数を行っています。膀胱癌に対する膀胱全摘ではストマなしですむ回腸を利用した新膀胱造設術を積極的に行っています。神奈川県では最多の経験数があります。分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬等を用いた抗癌剤治療も積極的に行っています。尿路結石に対しては体外衝撃波結石破砕術や内視鏡による治療を行っています。大きな結石に有効な経皮的尿路結石破砕術も行っています。この手術は難易度が高いため行っているのは神奈川県で数施設のみです。前立腺肥大症に対しては低侵襲なレーザー手術を行っています。どの手術も

全国で上位の件数を行っています。横須賀市で行っている前立腺癌検診は地域の先生方に協力していただき、15年以上の大規模なデータを論文にし、高い評価を受けました。この場を借りて感謝申し上げます。

最近のプライベートの楽しみを教えてください。

テニススクールに週に1回行っています。この年でも上手になろうと頑張っています。去年はコロナの影響で開催されませんでしたが共済病院対抗のテニス大会に殆ど毎年出場しています。テニスはなかなか上達せず、テニスが仕事でなくて良かったと思っています。



地域の先生方にメッセージをお願いします

良質で満足頂ける医療を提供していきます。泌尿器科の殆どの疾患に対応していますのでご紹介いただければ幸いです。よろしくお願い致します。

Profile

出身校
山形大学医学部 平成4年(1992年)卒

専門領域
泌尿器科癌

学会専門医資格
日本泌尿器科学会 専門医
日本泌尿器科学会 指導医
日本泌尿器科学会 腹腔鏡技術認定医
泌尿器ロボット支援手術プロクター(前立腺 腎 膀胱)
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本内視鏡外科学会 技術認定医(泌尿器科領域)
横浜市立大学医学部 臨床教授
身体障害者診断医・指定医(ぼうこう障害)
難病指定医

泌尿器科医師インタビュー

医長 伊藤 悠城



日頃より、多くの患者さんを御紹介いただきまして誠にありがとうございます。横須賀地区は半島という地域の特性上、円滑な市内診療を遂行するために地域連携が極めて重要であると考えております。今後も横須賀地区の医療レベルの向上に努めてまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。

専門領域

泌尿器科疾患一般、排尿障害

学会専門医資格

日本泌尿器科学会 専門医
日本泌尿器科学会・日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医
日本癌治療学会 認定医

経歴

筑波大学
平成17年(2005年)卒医長
上野 大樹

平素より大変お世話になっております。日頃より多くの患者さんのご紹介まことにありがとうございます。

患者さんを通じて多くの事を学ばせていただいております。先生方のご協力をいただきながら横須賀地域の医療に貢献して参りたいと考えております。

今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

専門領域

泌尿器科疾患一般

学会専門医資格

日本泌尿器科学会 専門医

経歴

横浜市立大学
平成19年(2007年)卒医長
三山 健

泌尿器領域における難しい癌腫の診療から尿失禁や頻尿等、生活の質に関する疾患の御相談まで幅広く対応できることを目標に日々診療をしています。先生方と一緒に地域の方に質の高い医療を提供できる様にこれからも精進いたします。至らない点は多々あるとは存じますが、お力添えいただければ幸いです。宜しくお願いいたします

専門領域

泌尿器癌

学会専門医資格

日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医

経歴

東海大学 医学部医学科
平成21年(2009年)卒

泌尿器科 検読論文

The Prostate

ORIGINAL ARTICLE

Does screening for prostate cancer improve cancer-specific mortality in Asian men? Real-world data in Yokosuka City 15 years after introducing PSA-based population screening

Tadashi Tabei MD, Masataka Taguri PhD, Naoki Sakai MD, Hideshige Kish MD, PhD, Minoru Yoshida MD, PhD, Atsushi Fujikawa MD, PhD, Takuma Nishi MD, Seigo Tsubumi MD, Hiroki Ito MD, PhD, Souichi Furukawa MD, PhD, Takashi Kawanishi MD, PhD, Yasuhide Miyoshi MD, PhD, Sumie Noguchi MD, PhD, Hiroki Uemura MD, PhD, Kazuki Kobayashi MD, PhD

First published: 20 May 2020 | <https://doi.org/10.1092/pros.23097> | Citations: 1



泌尿器科

横須賀市国保特定健診等実施機関研修会 「CKD の現状と病診連携の重要性」

横須賀市国民健康保険特定健診（以下特定健診と略す）における CKD 病診連携システムが 2020 年度から稼働しました。コロナ禍で延期されていた講演会を 2021 年 5 月に横須賀市市役所から Web 配信いたしました。特定健診は、横須賀市人口の約 25%（98,000 名）が対象です。横須賀市独自の CKD 紹介基準該当者は健診受診者の 4.5%（1,000 名）と推定されます。本システムは、かかりつけ医で検尿の 2 次検査を経ずにダイレクトに腎専門医療機関への受診を促進するものです。末期腎不全への進展リスクを有する対象を早期に発見し、腎臓専門医の観点から評価します。進展した CKD では、進展抑制目的の治療強化と保存期腎不全治療をおこなうとともに、合併症を有する割合が増加するため薬剤使用の適正化も重要な介入事項となります。

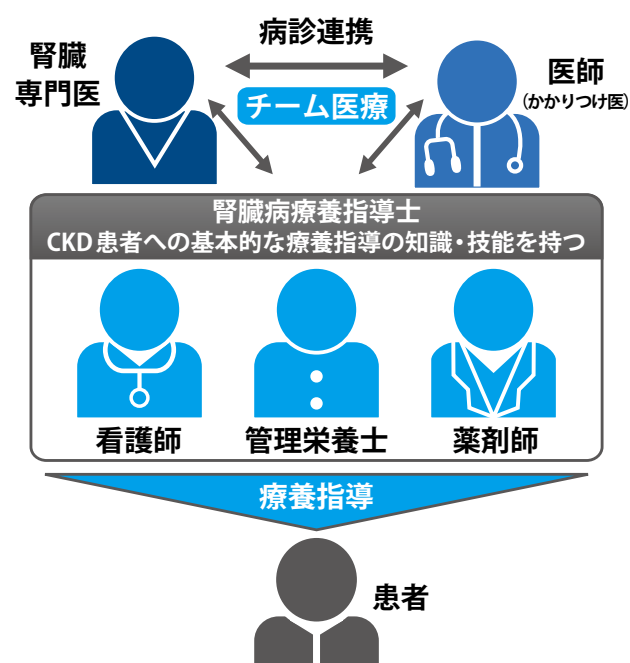
当院では Stop G5 のスローガンのもと、早期 CKD 連携を推進してきましたが 2019 年度の調査にて G5 期（eGFR<15）での新規紹介割合が遂に 10%未滿を達成しました。かかりつけ医の皆様には大変感謝するとともに、今後も CKD 連携システムをより良いものにするためにご協力をお願いいたします。



腎臓内科 部長
田中 啓之

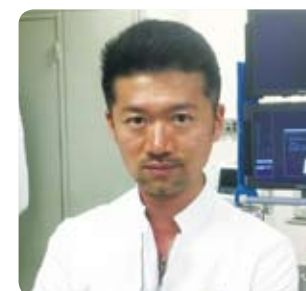


Web 配信の様子



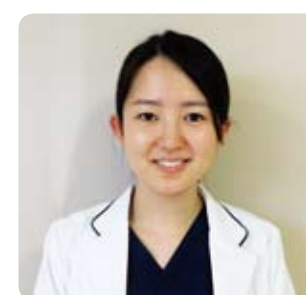
「第8回 三浦半島 PAD カンファレンス」

今回は下肢の動脈硬化症に対する当院での取り組みについて紹介します。当院では 2016 年 10 月から三浦半島末梢動脈疾患（PAD）カンファレンスを年に 2 回開催、2017 年 4 月から下肢虚血外来を新規に開設しました。下肢虚血外来には循環器内科及び腎臓内科医師が当番制で診療に当たり、必要に応じて皮膚科と形成外科が開設しているフットケア外来へ併診することとなります。コロナ感染症の影響で昨年はカンファレンスを延期しましたが、2021 年 5 月に web 開催の形式で第 8 回目のカンファレンスを無事に迎えることができました。この三浦半島 PAD カンファレンス、下肢虚血外来を開始することで、クリニック及び当院の各専門科における PAD に対する知識の共有を行い、下肢の疾患を通して院内及び院外の連携を強化してきました。PAD 患者さんに併存する心疾患、腎疾患、糖尿病も精査・治療することで患者さんの動脈硬化性疾患を包括的に治療することも可能となりました。この地域医療から新たな医学的知識を発信することも考慮して、当科から国際的論文を作成するだけでなく、大学病院と協力して臨床研究も進めています。これらの活動が、現在及び未来の三浦半島の動脈硬化性疾患を有する患者さんの治療の向上につながるものと信じて今後も継続させていく予定です。



循環器内科 医長
菱刈 景一

第 8 回三浦半島 PAD カンファレンスで慢性腎不全、下肢虚血のある患者さんと高カリウム血症の関係について講演させて頂きました。慢性腎臓病患者は心不全や糖尿病合併、RAAS 阻害薬内服などから高カリウム血症の頻度が高く、血清カリウム値のコントロール不良は死亡率の上昇をもたらすことから適切なコントロールが望ましいとされます。最近では新規カリウム吸着薬の登場もあり、高カリウム血症に対する治療の選択肢は広がっています。また、下肢虚血については当院循環器内科の菱刈先生や横須賀クリニック看護部の小尻看護師のご講演にもあった通り、患者さんの ADL や QOL に大きく影響するところであり、複数の診療科とコメディカルを含めたチームで診療にあたるが必要不可欠と考えます。



腎臓内科 医師
寺井 あゆみ



医療従事者研修会

第1回 WEB 研修会の開催報告

2021年7月15日、医療従事者研修会を開催致しました。

初めてのWEB研修会でしたが、77人と多くの方々に視聴していただきました。

内容	第1部	「新型コロナウイルス感染対策」～正しく理解し実践へ活かす～ 感染管理認定看護師 下川結花
	第2部	「医療従事者のこころのケア」～コロナ禍に生きる私たち～ 精神看護専門看護師 河野伸子
	みなさんからの質問コーナー	



感染管理認定看護師
下川 結花

沢山の地域の皆様に参加頂き感謝いたします。
感染対策の目的は、「感染させない」「感染しない」この2点が重要です。

そのためには、感染対策を正しく理解し実践する事が必要となります。

全ての対策は標準予防策が基本であり、日常的に『手指衛生(手洗い)』『防護具着用(マスク・手袋・ゴーグル・ガウン等)』を行う事で自分自身

を守る事に繋がっています。

2019年12月新型コロナウイルス感染症(COVID-19)発生、全世界に拡大し人類を震撼させ続けています。

新型コロナウイルスは、咳やくしゃみ等の飛沫感染・直接触る若しくはウイルスが付着した物に触れる接触感染(エアロゾル発生時は空気感染する危険性)で拡大し、潜伏期間は1日～最長14日間(平均5.6日)、ウイルス排出期間は10日間、発症2日前から感染力があります。症状は、発熱・咳・呼吸器症状や味覚嗅覚障害などがあり無症状の場合もあり、感染対策は標準予防策+飛沫感染対策+接触感染対策を必要とします。

現在、日本は感染拡大第5波、非接触社会・ユニバーサlmasking・換気などの徹底、新しい生活様式を取り入れながら感染防止に努める事が重要です。

特に、健康管理に努め症状がある時は早期に受診する事、感染しやすい場面「飲酒を伴う懇親会等」「大人数や長時間におよぶ飲食」「マスクなしでの会話」「狭い空間での共同生活」「居場所の切り替わり」を理解した日頃の行動が、「自分自身」「大切な人々」を守る事に繋がっていくため、感染防止行動を習慣化する事が最強の感染対策であると考えます。



精神看護専門看護師
河野 伸子

地域の皆様には、平素より大変お世話になっております。

私からは、コロナ禍における当院の院内メンタルケアチームの実践をご紹介いたしました。当日は、70名を超える多くの皆様にご参加いただいたと伺いました。心より感謝申し上げます。また、皆様のお役に立つようなことがございましたら、大変嬉しく思います。

当院では、2020年4月に多職種からなるメンタルケアチームを立ち上げ、活動を展開してまいりました。「メンタルケア」と言葉にしますと、あたかも一方的に支援を提供しているように聞こえるかもしれませんが、実際は職員の仕事に励まされ、「お疲れさま」と労われ、共に苦悩を体験しながら、職員に支えられて今に至っています。

私の考えですが、医療従事者のメンタルヘルスはメンタルケア単独では成り立ちません。心身ともに安全感が得られ、働く人としての権利が保証されることも重要です。とはいえ事態は長期化し、医療従事者の疲弊が懸念されます。自分で自分のためにできるセルフケアとして、意図的に自分自身を大切にする時間をつくっていききたいものです。

「無痛分娩」のご対応ができるようになりました。

詳しくは産婦人科外来までご相談ください。

よろしくお願いいたします。



産婦人科 部長 杉浦 賢



診察の様子



助産師

今年度は女性医師が増えました。女性医師8人と男性医師1人の計9人で診療しており、女性医師の診察を希望する患者さんに対しても柔軟に対応できる体制となりました。

近年は無痛分娩希望の妊婦さんが増加しており、当院でも無痛分娩を立ち上げました。

分娩開始前に予定入院し、誘発剤を用いて陣痛誘発を行い、疼痛の程度によって鎮痛薬を使用する計画無痛分娩の方法で行っています。当院では総合病院であることの特色を活かして、無痛分娩の各手順に精通した専門科がそれぞれの専門領域を担当しながら行うことができます。

例えば、薬剤の準備は産科病棟薬剤師が、無痛分娩用硬膜外カテーテルの挿入は麻酔科医師が手術室で行い、急変時の対応は救急科医師が24時間対応致します。

このように他科・他部門と連携しながら無痛分娩を行うことにより、快適なだけでなく非常に安全な無痛分娩が可能となっています。

地域の先生方へ

当院での分娩希望の患者さん、無痛分娩を希望の患者さん、精密検査が必要な患者さん、手術が必要な患者さんだけでなく、「婦人科疾患かな?」と迷う場合でも、どうぞ当院へご紹介ください。

今後ともよろしくお願いいたします。

部署探訪

中央放射線科

皆さんのために、早く、正確で優しい検査を

中央放射線科では一般撮影、TV、CT、MRI、心臓カテーテル、血管造影、RI検査、MMG、乳房の超音波検査、放射線治療とRIの一部の内用療法を行っております。

急性期病院としては救急患者さんに対し常に迅速な対応が出来るように準備をしております。また、地域がん診療連携拠点病院としては放射線治療室（リニアック）では患者さんに適切で正確な治療を提供できるよう日々研鑽に努めております。

当科での乳房検査につきましては、マンモグラフィ、乳房超音波検査の全検査を女性技師が対応しております。

皆さんのために早く、正確で優しい検査となるよう努め「よかった。この病院で」を目指します。これからも宜しくお願いします。

Philipsの最新機で脳神経外科が去年約700件の検査・治療を行いました。

2020年4月より新しい装置が導入しました♪

乳房超音波検査も行っています。MMG担当技師が検査します。

安心・安全の放射線治療を目指しています。

部長
吉儀 淳

技師長
大石 小太郎

映像を見ながらリラックスして検査が受けられます。

RI検査は、時間のかかる検査が多いので患者さんの負担にならないように努めています。

トモシンセシスの撮影が可能であり、マンモトーム生検も行っています。連携のご依頼の方も多く検査させて頂いています。

健康管理センターよりお知らせ

健康管理センター 部長 上野 春菜

健康管理センターでは各診療科の協力の下、人間ドック及び各種健診を実施しています。2020年度は人間ドック健診施設機能評価 ver.4 を受審し、認定施設となりました。今後も地域の皆様に安心して、質の高い健診を受診していただける施設であるようスタッフ一同努めてまいります。

当センターでは人間ドック受診者へ、当日結果説明として検体検査結果・一部の画像検査結果を健診担当医より説明しています。要指導となった項目（主に血圧・脂質・血糖・尿酸・BMI・腹囲、喫煙飲酒などの生活習慣）について当日保健指導をご案内しています。保健指導は健診看護師と管理栄養士が担当しています。「生活改善の上3ヶ月後を目安に再検（経過観察）」または「治療を要する」と判断された項目がある方には、かかりつけ内科をつくられるよう勧めています。生活健康習慣病以外でのご紹介もふくめ、ドック結果票（あるいは結果報告書）と共にお近くの内科や眼科宛の紹介状をお渡ししています。すでに多くの先生方にご高診・ご高配いただき、また丁寧な受診経過のお手紙もいただきまして感謝申し上げます。ご多忙の中大変恐縮に存じますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



新規開業 医療機関訪問

よこすか甲状腺内科クリニック 2021年4月2日開業

院長の向笠浩司と申します。平成7年に横浜市立大学医学部を卒業し、大学院、アメリカ留学を経て、表参道にあります甲状腺専門病院の伊藤病院にて10年以上にわたり甲状腺疾患の診療をして参りました。この度、中島内科クリニックの分院として甲状腺専門クリニックを開業することになりました。

当日に結果をお伝えできる迅速検査機器とソーシャルディスタンスに配慮した待合室を完備し、患者さんが受診しやすいように昼休みのない診療時間を設定しております。また手術など当院では対応できない場合は、患者さんのご要望をお伺いしながら、長年にわたる甲状腺専門医のネットワークを生かして紹介先を決めていくといった甲状腺疾患のトータルサポートを目指しております。

横須賀共済病院ならびに近隣の実地医家の先生方や、横須賀、さらには三浦半島の甲状腺疾患の患者さんのお役にたてるよう、スタッフ共々がんばって参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



院長 向笠 浩司 先生



汐入くまさん整形外科 2021年5月1日開業

院長の石ヶ坪諒と申します。平成21年に愛媛大学を卒業後、横浜市立大学整形外科医局に所属し指導を受け、4年前より当法人クリニック（ザ・タワーくまさん整形外科、黒坂整形外科医院）に常勤として勤務させていただいております。

今年5月1日にコースカベイサイドストアーズ内に汐入くまさん整形外科を開業いたしました。当院では、MRI、骨密度測定、エコー検査が可能であり、精度の高い診断を目指します。また、必要な患者さんには理学療法士による運動器リハビリテーションを行います。

整形外科疾患は特に突発的に発症することが多く、当院は休診日無し（年末年始除く）にて地域の皆様の健康や安心のために尽くして参りたいと考えております。今後とも宜しく願い申し上げます。



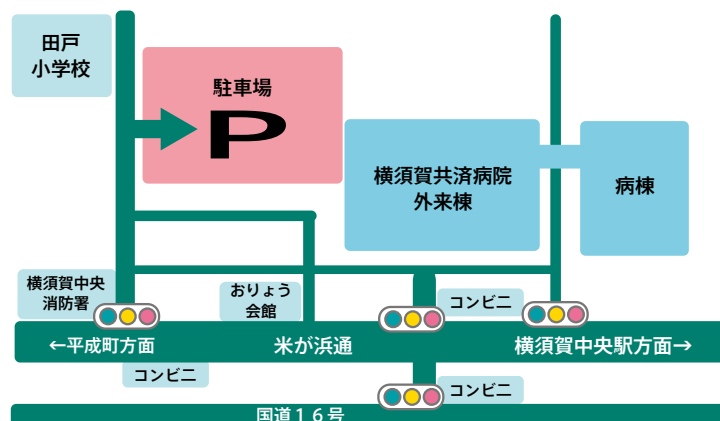
院長 石ヶ坪 諒 先生



News

患者用駐車場のご案内

2021年6月28日より
駐車場入口が、田戸小学校側の
1ヶ所のみとなりました。



退職医師

2021年6月1日付 ■泌尿器科・・・横川 秀平

2021年6月2日付 ■腎臓内科・・・青柳 誠

理念

よかった。
この病院で

患者さん・家族・職員
すべての人が安心できる
病院をめざします

編集後記

「泥中の蓮(でいちゅうのはす)」という、故事成語があります。
綺麗な水の中ではなく、泥の中でも蓮は清らかな花を咲かせます。

コロナ禍でも、その状況に染まらず清らかに生きること、
努力・忍耐が実り咲き誇る花となり、穏やかな時間とともに癒してくれる日々が近づいていると願っています。

どのような日々にも寄り添える病院であるよう、今後とも努力して参りますので、横須賀共済病院とれんけいだよりを、宜しくお願い致します。

地域連携室 山田・宮坂

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16
TEL 046-822-2710 (代表) FAX 046-825-2103 (代表)

地域連携センター地域連携室

TEL 046-827-1117 (直通) FAX 046-823-5020 (直通)

YKH れんけいだより vol.70

発行日：2021年(令和3年)8月26日

編集：地域連携センター地域連携室